

高度専門理学療法士

ポリシーステートメント

© World Physiotherapy 2019
www.world.physio



高度専門理学療法士

より進歩した高度専門理学療法は、過去 10 年間で多くの国々で実践されるようになった。進化し続けるサービス形態や社会の要求にこたえるために理学療法が大きく発達し、高度な実践が求められる機会が増えている。(注 1-4)

高度専門理学療法 (APP) が、臨床的にも経済的にも効率的だという証拠が増えている。これは理想的な療法であり、患者にとってもクライアントにとってもより良い結果をもたらす。(注 1, 5, 6) APP はまだ世界的には知られていないが、WCPT (世界理学療法連盟) の加盟組織の大半は APP が有益で望ましい傾向だと考えている。

APP が発達してきた理由はいくつかあるが、一つに、この専門分野が自然に進化していったというものがある。APP の発達を促進させてきたものは、APP が医療サービスに必要なものだという認識、理学療法士からの支持 (注 8)、医療従事者からのサポート、政治的支援、医療費返済モデルだ。(注 7)

APP が整形外科や筋骨格系の分野でサービスとしてすでに確立している国もある。神経系、呼吸循環器系、小児、高齢者向けの理学療法、ウイメンズヘルス、骨盤リハビリなどの分野でも APP は知られている。医療サービスの一部の特定の領域で限定的に導入されることもある。(注 7)

この分野における高度専門実践が具体的に何を意味するかという共通認識が欠けており、「専門化」と混同されることがある。(注 7) 必ずしも専門化が APP と同じ意味を持つとは限らない。高度専門理学療法士は、通常「専門家」であるが、専門理学療法士が高度専門理学療法士でない場合もある。)つまり、以下に記している高度専門実践の要項を満たしていないこともあり、その条件が要求されないこともある。例えば、高度専門実践のいくつかの側面が、理学療法の実践に関する法律又は規制で許可されていないこともある。しかし、WCPT の声明で定義づけられているとおり、専門化は実際に存在し、起こりうるものである。(注 9)

職業の成熟度、理学療法士のエントリーレベル教育基準、職業の自主性、国内の規制などを含む実践内容こそが、APP の発達の要である。WCPT の加盟組織は、APP をあらゆる言葉を用いて表現している。(注 10, 11) 具体的な内容は専門によって異なるが、共通点に基づいて以下のような表現が使われている。

高度専門理学療法実践とは.....

- 高度な実践、役割、責任、活動、能力を要する。
- 他の特定の肩書と共に併用されることがある。(注 1)
- 高度で、特別際立った臨床的かつ分析的技術、知識、臨床能力、心構え、経験を要する。
- サービスを向上させ、患者をより良い結果や体験に導き、臨床指導者としての立場を担うために、高度な技術や知識を要する。
- 複雑な問題を抱え、特別なケアを必要とする患者／クライアントへのケアを安全かつ適切に行う責任、リスク管理の責任を担う (注 10、11、1)。

注 1) これらの肩書は、国によって定義づけが異なり、法域によって意味が変わる可能性がある。例として、「コンサルタント理学療法士」、「高度専門理学療法実践者」、「高度専門実践理学療法士」、「範囲拡大実践者」などがある

高度専門実践は、小さいが徐々に増えつつある一部の実践者が行っている。高度専門理学療法士は、同僚の理学療法士や患者や他の医療従事者から「専門家」として認められている。その認定方法は法域によって異なる。

高度専門実践に含まれる注射、画像撮影の指示、薬の処方、以前は他の専門家が扱う分野であった可能性があり、理学療法士にその権限を与えるには、法律や規制を変える必要があるかもしれない。

高度専門実践には、専門的な教育や訓練、多くの実践の積み重ね、能力開発が必要となる。このサービスを提供するためには、他の医療従事者たちとの協力、研究、知見の解釈と伝達、リーダーシップなどの能力を要する。

現在、世界共通の決められた教育進路は存在しない。また、世界共通の定義も、高度専門理学療法士に求められる能力基準も存在しない。WCPT は、高度専門理学療法の実践のために、共通の定義やガイドラインを設けたいと考えている。また、この開発過程を世界で共有したいと考えている。

WCPT は、高度な理学療法が公衆や医療サービスやその業界にとって有益であると考える場合に、加盟組織は、高度専門理学療法を許可する国家的な方針を作るための権利を持つべきであると考えます。

WCPT は、加盟組織が各法域で、高度専門理学療法の開発を促すために、以下の活動を推進すべきであると考えます。

- 社会やサービスのニーズに見合う臨床的および対費用効果のあるソリューションを提供する部分を定めるよう、この役割のニーズ調査。
- 理学療法の高度専門実践が、現代社会が抱える医療課題に解決策を提供、貢献するという認識。
- 高度専門実践が、医療システムで唯一無二の特権的な役割を担い、大きな責任が伴うという認識。よって、この実践に伴う能力は、この業界で明確に定義づけられるべきである。
- 適切な教育進路のフレームワークと学習機会の提供。
- 適切なキャリアパスウェイの明記。

キーステークホルダー（例:その他の医療従事者、サービス提供者）へ影響するアドボカシー

Glossary (<https://world.physio/resources/glossary>)

Scope of practice

Specialisation

Approval, review and related policy information	
Date adopted:	First approved at the 19th General Meeting of WCPT May 2019
Date for review:	2023
Related WCPT Policies:	WCPT policy statement: physical therapist practice specialisation

References

1. Desmeules F, Roy JS, MacDermid JC, Champagne F, Hinse O, Woodhouse LJ. Advanced practice physiotherapy in patients with musculoskeletal disorders: a systematic review. *BMC Musculoskelet Disord*. 2012;13:107.
2. E. K, Sheppard L. The 'lone ranger': A descriptive study of physiotherapy practice in Australian emergency departments. *Physiotherapy*. 2010;96(3):248-56.
3. Kersten P, McPherson K, Lattimer V, Geirge S, Breton A, Ellis B. Physiotherapy extended scope of practice – who is doing what and why? *Physiotherapy*. 2007;93(4):235-42.
4. McPherson K, Kersten P, George S, Lattimer V, Breton A, Ellis B, et al. A systematic review of evidence about extended roles for allied health professionals. *Journal of health services research & policy*. 2006;11(4):240-7.
5. Fennelly O, Blake C, Fitzgerald O, Breen R, Ashton J, Brennan A, et al. Advanced Practice Physiotherapy Progressing Integrated Care of Musculoskeletal Disorders in Ireland: a National Evaluation. *International Journal of Integrated Care*. 2017;17(5):A119.
6. Warmington K, Kennedy CA, Lundon K, Soever LJ, Brooks SC, Passalent LA, et al. The patient perspective: arthritis care provided by Advanced Clinician Practitioner in Arthritis Care program-trained clinicians. *Open access rheumatology : research and reviews*. 2015;7:45-53.
7. World Confederation for Physical Therapy. Advanced practice: Results of survey of WCPT member organisations. London, UK: WCPT; 2018.

-
8. Gamlin J, Raymer ME, J L. Advanced Roles in Musculoskeletal Physiotherapy. In: Jull, et al, editors. Grieves' Modern Musculoskeletal Physiotherapy. 4th ed. In: Jull G, Moore A, Falla D, Lewis J, McCarthy C, Sterling M, editors. Grieves' Modern Musculoskeletal Physiotherapy 4th Edition. London, UK: Elsevier; 2015.
 9. World Confederation for Physical Therapy. Policy statement: Physical therapist practice specialisation. London, UK: WCPT; 2019. www.wcpt.org/policy/ps-specialisation (Access date 5 September 2019)
 10. Chartered Society of Physiotherapy. Advanced practice in physiotherapy. Understanding the contribution of advanced practice in physiotherapy to transforming lives, maximising independence and empowering populations. London, UK: CSP; 2016. www.csp.org.uk/system/files/csp_advanced_practice_physiotherapy_2016_2.pdf (Access date 1 October 2018)
 11. Australian Physiotherapy Association. APA Position Statement Scope of practice. Hawthorn, Australia: APA; 2016. www.physiotherapy.asn.au/DocumentsFolder/APAWCM/Advocacy/Scope%20of%20Practice_with%20on%20brand%20diagrams.pdf (Access date 2 July 2018)

© World Confederation for Physical Therapy 2019